

京のみどりウォーキングマップ



区民の誇りの木

- 1 與杼神社のイチョウ
- 2 八大龍王弁財天のイチョウ

ウォーキングコース
江戸時代の三川の流路 (資料提供: 関西古文化研究会)
T トイレ 消防署
石碑 郵便局 学校

かわづ 河津桜を淀水路から淀一帯へ ~淀さくらを育てる会~

河津桜は、静岡県伊豆半島の河津町発祥で、見ごろは2月中旬~と早咲きのサクラで、花色は鮮やかで濃いピンク色です。

2002年、2本の河津桜の苗木が淀水路沿いの淀緑地公園に植樹され、淀緑地公園愛護協会「新町会」が除草・清掃など美化活動とともに桜の植樹育成活動を始めました。その後植樹の輪は、下津地区の愛護協会「下津会」にも広がりました。

2006年には、「淀さくらを育てる会」が発足。地域の枠を超えて、淀地域一帯の町おこしを目指す取組になりました。水垂地区の埋立地や淀城跡公園、小学校など、次々に地域が広がり、増殖された河津桜は現在160本を超えました。花の蜜を吸うメジロの姿も見られるようになり、桜の名所として2011年には京都市の「京都さくらマップ」にも掲載されています。

「これからも地域・自治会の方々や行政と協力し、次世代にも引き継いで桜の回廊作りを進めていきたいです」と、きつかけとなった2本を植樹した新町会会長で、淀さくらを育てる会事務局の川崎莞爾さんは言います。

また新町会や下津会の皆さんは淀水路を桜に見合うきれいな水路にするため、ごみ拾いや、希少種のアサザを水路に植える活動も行っています。ほかにも淀老人クラブ連合会に呼びかけて集めた使い捨てカイロを活用した水質浄化にも取り組み、徐々にトンボや小魚が増えてきています。

新しくなった淀駅の周辺や淀城跡公園を含めた淀地域一帯が近畿一の河津桜の名所となることを目指されています。

見ごろは3月中旬までの約1ヶ月と長く楽しめる

●淀さくらを育てる会事務局
京都市伏見区淀新町 598-6 (川崎さん宅)
ブログ <http://yodosakura.blogspot.com/>

賛助会員100名突破しました!